



第1037号
2007年5月27日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nskkg.org
Phone: 03-3433-0987 Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇5月の代祷・信施奉献先
▽葛飾学園(サンピエール・保育園)のため▽名古屋学生青年センターのため▽カパテイランの働きのため▽アジア・エキュメニカル週間(5月20日〜27日)

◇堅信受領

5月6日 真光教会で
▽名倉優▽小出康之(真光)
5月13日 八王子復活教会で
▽萬木尚一▽萬木欣二▽萬木照恵▽山内一剛(八王子復活)
5月20日 主教座聖堂で
▽高田直樹▽藤本隆夫(聖マーガレット)▽川英友(聖二二)▽吉岡利幸▽牧有沙▽原口博行▽村松幸▽廣瀬裕亮(聖アンデレ)
◆とこしえの平安
4月28日 江口 詠子(64)
葛飾茨十字

今週・来週の予定

5月27日~6月9日

- 27(日) 聖霊降臨日
主教巡回
聖オルバン教会
城南G教会協(三光)
下町G教会協(聖救主)
山手G教会協
(聖マーガレット)
- 28(月) 聖職養成委:教役者
研修会(箱根・~30日)
- 30(水) フェスティバル
実行委員会
- 6月
1(金) 教区企画室
3(日) 三位一体主日・聖霊降臨
後第1主日
主教巡回
練馬聖ガブリエル教会
- 8(金) 職員会議
広報委員会

▽聖路加国際病院礼拝堂定例「オルガンコンサート&夕の祈り」
6月6日(水) 18時

4月30日 石黒 昭吾(76) 半、19時からそれぞれ行われる。演奏者は河野和雄。入場無料(会場献金)
5月1日 小沢加奈江(89) 三光
5月3日 中島 未知(56) 聖三一
▽立教学院諸聖徒礼拝堂「マリイ長澤瀧子記念コンサート」6月8日(金) 19時開演。オルガン、ティンパニー、ハンドベルなどの演奏。入場無料(先着2百50人)。照会電話 03(3985)269
8・チャップレン室事務課。

◇須賀義和執事の司祭試験の
一環となる公開説教が、6月
8日(金) 18時半から、主教座
聖堂で行われる。多数、来聴
を…(聖職試験委員会)。

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

神の息吹を求めて祈る

毎年3月末、私は北海道南部の今金インマヌエル教会に巡回します。まだ雪と氷に覆われたこの時期、教会では農家の信徒たちが、その春に蒔く種や芋などを祭壇の前に捧げて、「種の祝福」の礼拝をします。種が祝福されて初めて、これらの信徒たちの農作業が始まります。

主のご復活後も 今日まで閉じこもっていた弟子たちにはまだ生命の躍動が感じられません。恐れと無気力に囚われている弟子たちですが、それでも彼らは主の約束を信じて集まり祈っていました。そこに聖霊が降りま

《種の祝福》には、今がどのような状況であつても、種が祝福され、春夏の農作業に神の息が吹き込まれ、大地の上を神の風が行

す。弟子たちはこの日以来、新しい命にかされて勇ましく宣教のわざに乗り出していきます。

き渡ると、必ず秋には豊かな収穫が与えられるというこの教会の信徒の信仰があり、それは雪と氷の世界に赴く私に、いつも大きな勇氣と希望を与えてくれます。神の息吹を、聖霊を求めて必死に祈る人々に約束される実りを、今から先取りして喜び感謝できる、それが私たちの生き方ではないでしょうか。

(北海道教区主教)

創世記に、神は土で人を作り、その鼻に

▽信仰と生活委員会信徒講座「不完全なものとしての完成・人間の創造」講師Ⅱ雨宮慧神父。①6月9日Ⅱ人間は最初から欠けた存在であった②6月23日Ⅱ欠けたものである人間にとつて罪とは何か。いずれも土曜14時～16時・聖路加国際病院聖ルカ礼拝堂。自由献金制。照会先Ⅱ教区事務所宣教主事。

▽人権委員会講演会「隣人に聴く性同一性しようがい」6月2日(土)14時～16時、聖愛教会。講師・虎井まさ衛(作家)／千葉大学・立教大学非常勤講師。「じんけん週間Ⅱ5月27日～6月2日」プログラム。照会電話Ⅱ03(3316)7996(同会委員長)。

▽立教女学院創立130周年

記念コンサート『文化財で聴くオルガン』①「聖マーガレット礼拝堂の魅力」6月2日(土)14時、同院聖マーガレット礼拝堂で。レクチャー(建築史家・稲葉和也)とオルガン演奏(岩崎真実子)。2千円。照会Ⅱ03(5370)3038(月・火・木・金)。次回②は今秋。

▽超教派キリスト教礼拝音楽学会第7回大会(含総会) 教区礼拝音楽委員会後援により6月2日(土)～4日(月)、立教学院諸聖徒礼拝堂と聖オルバン教会を会場に開催される。

▽五本木九条の会公開講演会「憲法九条改正の動きに、どう立ち向かうか」6月7日(木)18時(礼拝)、同45分～21時半(講演会)、聖パウロ教会。講師に奥

平康弘教授(東京大学名誉教授・九条の会呼びかけ人)を迎える。「韓日・日韓平和の友だち」共催のほか、教区正義と平和協議会協賛、平和を実現するキリスト者ネット・恵泉バプテスマ教会などが後援するエキシメニカル集会。多数の来聴者が見込まれている。参加費500円(資料代)。照会先電話Ⅱ03(3710)6031・会場。

▽東京諸聖徒教会訪問礼拝 今年6月3日の主日、市川聖マリヤ教会(横浜教区)を訪問し、司式を三原一男司祭(同聖マリヤ)、説教を山野繁子司祭で礼拝を守る(留守中の礼拝は信徒による朝の礼拝)。礼拝後は用意される昼食を共にして交流プログラムに…。

【学びと働きから】44

環状教会グループ

全生園での学習集会

環状グループ合同礼拝が4月30日に多磨全生園で、総勢百80人、若葉の萌える豊かな自然の中で行なわれた。当日は休館日にもかかわらず、新装成った資料館を見学させて頂いた。

1907年(明治40年)、らい予防法制定により患者が強制隔離され、断種墮胎の強制など、人権が無視された様子が、古い写真やパネルなどで展示されていた。また狭い部屋に多くの男性が寝泊りし、収容所の悲惨な実態が実物大の模型で再現されていた。1996年(平成8年)、らい予防法が廃止、また、

予防法の違憲判決で人権が回復し、偏見も改善し、70～80人が社会復帰できたという。入居者の多くが高齢で、体が多少不自由にもかかわらず、皆さん元氣溼刺で、余生を楽しむ姿が印象的であった。合同礼拝のお世話係の石神さんも、「朝起きたらまず盆栽の根を見る。朝、水をやったり、草が生えたら抜き、夕方にも面倒を見る。短気では務まらない。明日も面倒を見なければならぬ。だから自分を大切にすると話されていた。ハンセン病で苦しんでこられた方々を想う時、私たちは人権を尊重する社会の実現を目指し、同じ過ちを犯してはならない。

幹事教会 永井寛泰
(池袋聖公会信徒)

《今、この教会では…》

聖アンデレ教会

当教会には、長年オルターやアコライトで奉仕して下さっている、礼拝学の事典の様な大先輩が居られる一方、「子供と祝うユーカーリスト」からは高校生世代も誕生しつつある。若いお母様方がオルターギルドに参加され、子供達がアコライトの研鑽を積み、聖歌隊のアンセム奉唱が定着している姿に、アングリカンの礼拝の伝統が守られる希望を感じる。近年顕著な変化としては、東京タワーが再び脚光を浴び、当教会に立ち寄りられる観光客の方が急増していることがある。社会に向け発信していく活動も課題であろう。

(早崎宏平)